



平成30年度 地球環境基金 助成金のご案内



独立行政法人 環境再生保全機構

地球環境基金部

1. 地球環境基金について

P.1、2

P.1、2



(1) ビジョンとミッション

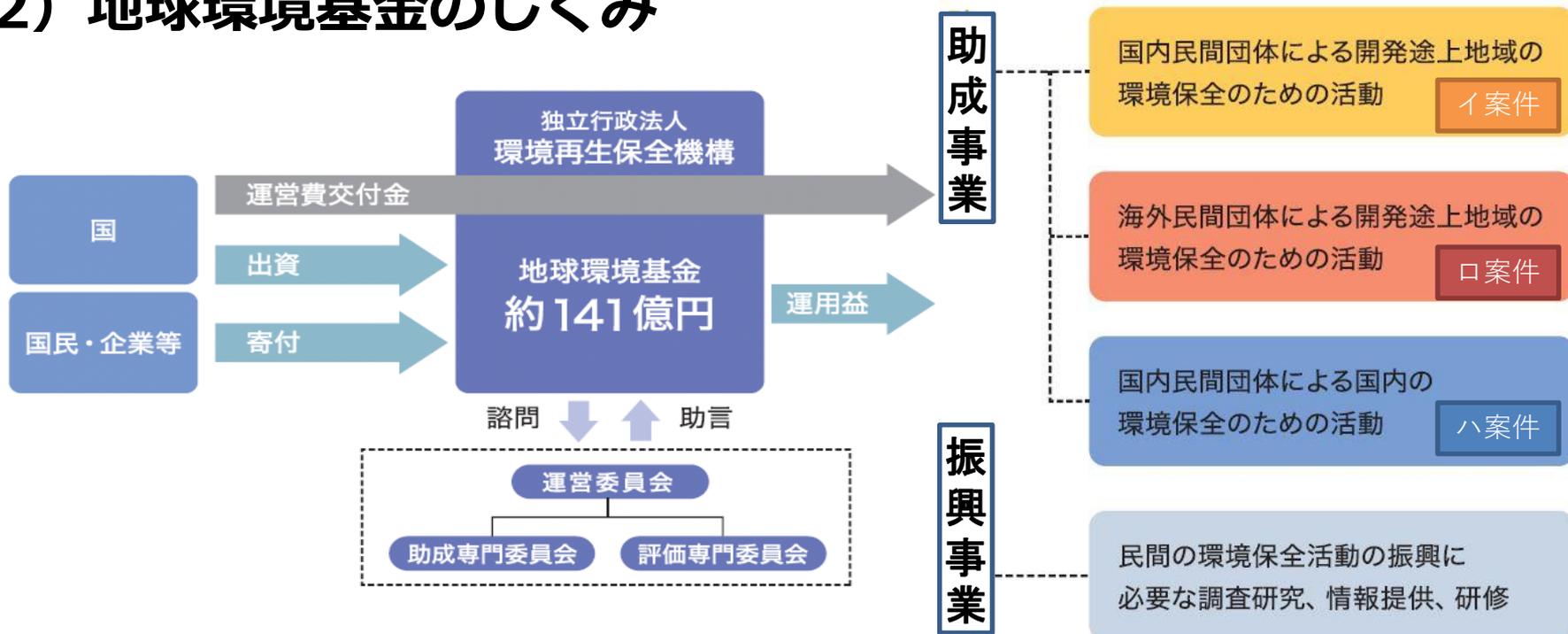
ビジョン

環境NGO・NPO活動の支援を通じて持続可能な社会の実現に貢献する。

ミッション

- ①活動の量・質の充実
- ②組織の機能強化
- ③地域での連携・協働
- ④国際的な展開

(2) 地球環境基金のしくみ



1. 地球環境基金について

P.8~10

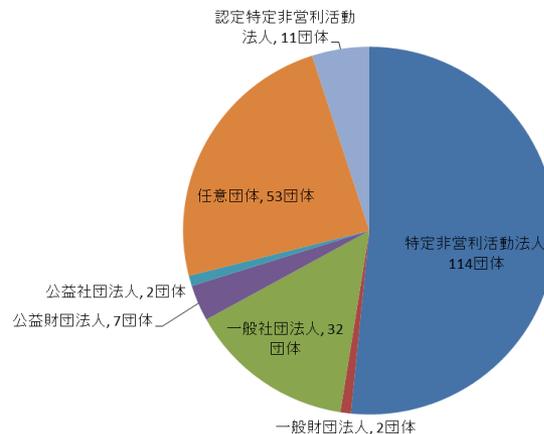
P.6~8



(3) 応募団体要件

- ① 特定非営利活動法人
- ② (一般/公益) 社団法人、財団法人
- ③ 任意団体 (要件あり)

H29 221団体内訳 (H29交付決定時)



(4) 対象活動分野



1. 地球環境基金について

P.11~

P.7



(5) 活動対象地域と活動の区分

	活動地域： 海外（開発途上地域）	活動地域： 国内
国内の民間団体	イ案件	八案件
海外の民間団体	ロ案件	

(6) 活動形態

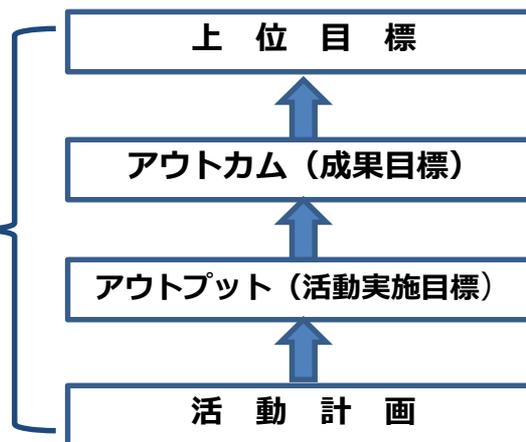
- ア. 実践
- イ. 知識の提供・普及啓発
- ウ. 調査研究
- エ. 国際会議

1. 地球環境基金について



(7) アウトカム（成果）志向、
戦略志向である。

戦略的・論理的
つながりを重視



(8) 厳密な支払審査。

- ・ 補助金適正化法が適用されるため、厳密な審査が求められます。
- ・ 支払申請が妥当であることを確認するために、領収書や証拠書類などを提出していただきます。

(9) 評価制度がある。

- ・ 外部有識者によるヒアリングや現地調査を実施



フィードバックをこれからの活動に活かす仕組み

2. H30年度からの変更点

表紙裏面

表紙裏面



要望書受付期間

平成29年11月13日(月)～平成29年12月11日(月)

内定の通知

平成30年3月頃(予定)

2. H29年度からの変更点

表紙裏面

表紙裏面



○フロントランナー助成及びプラットフォーム助成の応募要件

助成活動関連分野における活動実績の要件を、
「3年以上」から「1年以上」に変更

○審査方針の一部見直し

助成メニュー別の不採択となる事例を追加(P.24～)

3. H30年度版 助成メニューのご紹介

P.3、4



メニュー名	概要	助成期間	年間助成金額
ひろげる助成	課題解決能力等に磨きをかけ、より効果的な活動の展開を実現し団体組織のステップアップを目指すための支援制度	最大3年間	200万～800万円
つづける助成	地域にねざすことなどを目指して始めた活動が、継続し、持続的な活動へと定着することを支援する制度	最大3年間	50万～300万円
はじめる助成	地域活動の種を育て、地域に根付いた活動を中心に、地域からのボトムアップでの充実を目指す支援制度	原則1年間	50万～300万円
ボランティア助成	日本の環境NGO・NPOが中心となり、市民社会に新たなモデルや制度を作るための支援制度	原則3年間	600万～1,200万円
プラットフォーム助成	日本の環境NGO・NPOが横断的に協働・連携し国際会議等で意見表明を行うなどの大きな役割を果たすための支援制度	最大3年間	200万～800万円
復興支援助成	東日本大震災被災地域における環境保全を通じた復興に資する活動への支援制度	最大3年間	100万～500万円
特別助成	東京2020に開催に向けた活動で、東京2020から環境面でのレガシー、市民参加による環境保全のムーブメントを創出するための支援制度	原則1年間	200万～600万円
LOVE BLUE助成	一般社団法人日本釣用品工業会からの寄付によるものであり、清掃活動など、水辺の環境を構築するための支援制度	原則1年間	総額1,350万円以内

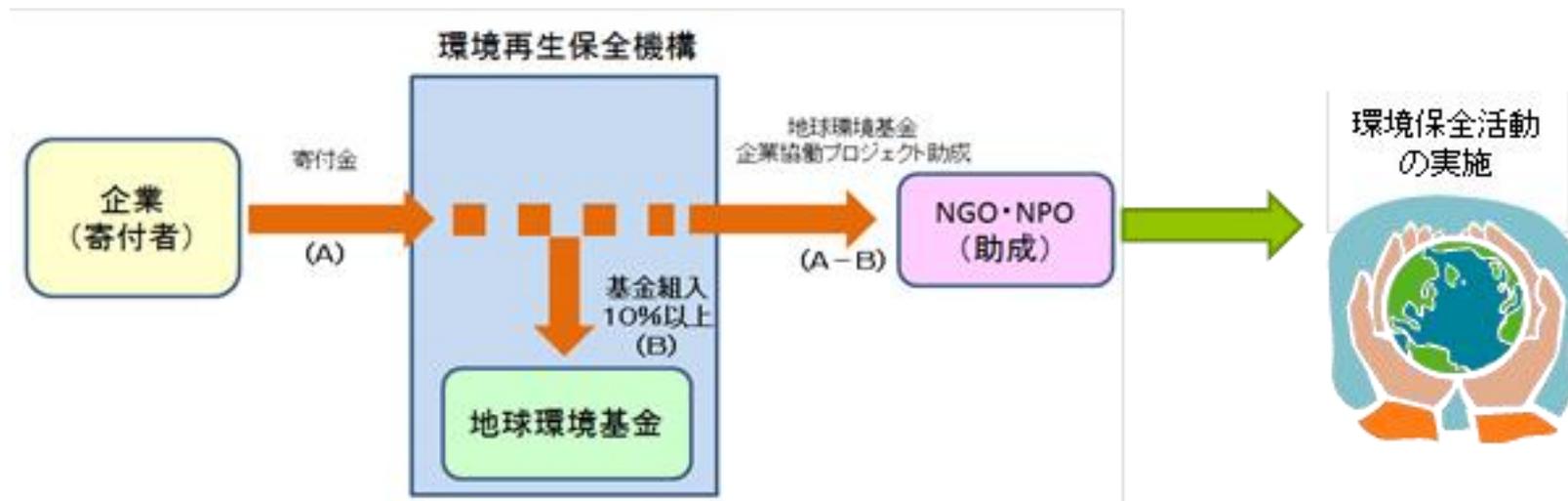
3. H30年度版 助成メニューのご紹介

P.6

P.3

企業との協働プロジェクト

平成27年度より、企業等との連携・協働の一環として、「地球環境基金企業協働プロジェクト」を開始。



平成30年度も「LOVE BLUE助成」を実施します。

3. H30年度版 助成メニューのご紹介

P.14、15

-

環境NGO・NPOの人材育成

※はじめる、つづける、特別、LOVE
BLUE助成は対象外

プロジェクトリーダー育成への支援

- 今後の非営利活動の更なる促進を目的として、活動を担うリーダー育成の支援を開始。
- 助成事業からの「活動推進費」として支援する面と振興事業の「研修」として支援する面を“パッケージ”とした、プログラムです。

助成事業の若手プロジェクト
リーダーの活動推進費を助成

若手
プロジェ
クトリー
ダー

目標設定

研修受講

意見交換会
情報交換会

3年後、
プロジェクト
リーダーの育
成

- 事業計画の設定
- 活動終了時の自立に向けた目標設定

対象者向け若手プロジェク
トリーダー研修を実施

助成終了後、報
告会等で集まり
フォロー

3. H30年度版 助成メニューのご紹介

P.3、12

はじめる助成

助成期間

1年間

対象案件

イ・ロ・ハ

年間
助成
金額

50万円～
300万円

目的

地域活動の種を育て、地域に根付いた活動を中心に、地域からのボトムアップでの充実を目指す支援制度

対象活動

- ・環境保全に資する活動
- ・地域に根ざした活動

対象団体

- ・助成活動関連分野における活動実績を1年以上有していること
- ・団体設立から10年以下であること
- ・過去に地球環境基金の助成を受けたことがないこと

その他条件

はじめる助成を受けられるのは1団体1回限り

3. H30年度版 助成メニューのご紹介



P.3、12

-

つづける助成

助成期間

最大3年間

年間
助成
金額

50万円～
300万円

対象案件

イ・ロ・ハ

目的

地域にねざすことなどを目指して始めた活動が、継続し、持続的な活動へと定着することを支援する制度

対象活動

- ・環境保全に資する活動
- ・同種の環境保全活動を持続的に続けることを目指す活動
- ・様々な主体と連携し、その後の発展を目指す活動

対象団体

- ・助成対象分野における活動実績を1年以上有していること
- ・直近3年間に入門助成を受けた団体または、過去に地球環境基金の助成を受けたことがない団体であること

その他条件

つづける助成を受けられるのは1団体1回限り

つづける助成

(特非)丸瀬布昆虫同好会(北海道)

活動名：武利及び丸瀬布地区に「虫のいえ」をつくろう
分野：総合環境教育（150万円）



環境教育として、本助成活動では「虫のいえ」を作り、集まってくる虫を調べることを通して、子どもたちが昆虫と触れあい育てることができるようになることを目指しています。

自然豊かな北海道オホーツクの遠軽町においても、虫を触ったりつかまえたりした経験がない子どもが多いとのこと。「虫のいえ」の中にどんな木や植物を入れるとどんな虫がすみつくかを予想、秋には木を取り出して中にある虫を調べます。

3. H30年度版 助成メニューのご紹介

P.3、12

-

ひろげる助成

助成期間

最大3年間

年間
助成
金額

イ案件:200万円
~800万円

対象案件

イ・ロ・ハ

ロ・ハ案件:200
万円~600万円

目的

課題解決能力等に磨きをかけ、より効果的な活動の展開を実現し団体組織のステップアップを目指すための支援制度

対象活動

- ・環境保全に資する活動
- ・団体にとって、新しい課題、分野、手法に取り組もうとする活動

対象団体

助成活動関連分野における活動実績を3年以上有していること

その他条件

ひろげる助成を連続して6年間受けた場合、その後2年間は地球環境基金の助成金に要望することができない

3. H30年度版 助成メニューのご紹介

P.4、13

-

フロントランナー 助成

助成期間

原則3年間

年間
助成
金額

600万円～
1,200万円

対象案件

イ・ハ

目的

日本の環境NGO・NPOが中心となり、市民社会に新たなモデルや制度を生み出すための支援制度

対象活動

新たな価値や制度を創造しようとする環境保全活動

対象団体

- ・主たる事務所を国内に有していること
- ・助成活動関連分野における活動実績を1年以上有していること

その他条件

- ・要望時に5年間の活動計画を提出し採択された場合、活動の進捗及び第三者評価の結果によっては最大5年間助成を受けられる
- ・フロントランナー助成を5年間受けた場合には、その後2年間は地球環境基金助成金に要望することができない

3. H30年度版 助成メニューのご紹介

プラットフォーム 助成

助成期間

最大3年間

年間
助成
金額

200万円～
800万円

対象案件

イ・ハ

目的

日本の環境NGO・NPOが他のNGO・NPOなどと横断的に協働・連携し特定の環境課題解決のために大きな役割を果たすことを目指す支援制度

対象活動

様々な団体が連携・協働することで、環境課題解決のため連携基盤を確立し、取り組む環境保全活動

対象団体

- ・主たる事務所を日本国内に有していること
- ・助成活動関連分野における活動実績を1年以上有していること

その他条件

助成期間は最大3年間としているが、国際会議などターゲットとする年が明確な場合、その年まで助成の延長を認める場合がある
その後は、同一の課題については当分の間採択しない

3. H30年度版 助成メニューのご紹介

P.4、13

復興支援 助成

助成期間

最大3年間

年間
助成
金額

100万円～
500万円

対象案件

ハ

目的

東日本大震災及び熊本地震の被災地域における環境保全を通じて、これら地域の復興に貢献しようとする活動への支援制度

対象活動

東日本大震災及び熊本地震の被災地域における環境保全を通じた復興に資する活動

対象団体

助成活動関連分野における活動実績を1年以上有していること

その他条件

被災地域に所在していない団体でも応募可能

3. H30年度版 助成メニューのご紹介

特別助成

助成期間 原則1年間

年間助成金額 200万円～
600万円

対象案件 ハ

目的

東京2020大会の開催に向け、環境面でのレガシー、市民参加による環境保全のムーブメントの創出を目指す支援制度

対象活動

大会キャンプ及び関連行事と連動した環境負荷の最小化、自然との共生、持続可能な社会づくり等に取り組む活動

対象団体

助成活動関連分野における活動実績を3年以上有していること

3. H30年度版 助成メニューのご紹介

LOVE BLUE 助成

助成期間	最大3年間 原則1年間	年間 助成 金額	継続分を含む寄 附総額の範囲内 平成30年度は 1,350万円
対象案件	ハ		

目的

自然と共にある清掃活動など、水辺の環境構築を支援する制度

対象活動

清掃活動など、水辺の環境保全活動

対象団体

- ・3年間の計画で要望する場合、助成活動関連分野における活動実績を3年以上有していること
- ・1年間の計画で要望する場合、助成活動関連分野における活動実績を1年以上有していること

その他条件

1年間の計画で要望された場合でも、活動の発展性、進捗状況によっては最大3年間助成を受けることが可能

LOVE BLUE助成 (特非) アンダンテ21 (島根県)

活動名：協働と次世代育成をめざした益田市水環境保全プロジェクト
分野：総合環境教育 (120万円)



海岸清掃 (写真左) とキス釣り教室 (写真右) のイベントを市民向けに開催されました。釣り名人による指導もあり、初めて釣りを体験する子どもたちもみんな釣れて、親子で楽しいひとときを過ごされていました。地元の方々が、地元の自然に親しむ体感・体験型の環境教育イベントとなっています。

4. 地球環境基金の採択ポイント



P.24～28

P.14～16

高く評価

不採択になるもの

多様性志向

- 活動をさらに発展させるような活動
- 活動の幅を広げるような活動
- 新たな取り組み

- 団体の既存活動と同様の活動
(はじめる、つづける助成を除く)

起業自立志向

- 物を買ったり、作ったりしたあとの活用方法が明確で、自立していく道筋があるもの
- 特に事業化を目指す活動は、市場形成、サプライチェーン戦略があるもの

- 物品資材の購入ばかり

協働志向

- 自分たちだけでなく、連携・協働、まきこみ、ネットワーク化など志向しているもの

- 活動の将来性、発展、目標達成につながるような道筋が見られない

4. 地球環境基金の採択ポイント



※平成29年度の助成金採択率は約5割程度

(単位: 件、百万)

助成の種類	要望		採択		採択率
	件数	金額	件数	金額	
はじめる助成	64	138	20	33	31%
つづける助成	68	143	26	46	38%
ひろげる助成	233	1,000	151	476	64%
フロントランナー助成	11	102	4	29	36%
プラットフォーム助成	8	45	3	16	37%
復興支援助成	14	54	11	31	78%
特別助成	3	16	2	8	66%
LOVE BLUE助成	13	24	8	9	61%
計	<u>414</u>	1,525	<u>225</u>	650	54%

注) 百万円未満切捨のため、端数処理で合計が一致しない。

(参考) H29国内団体採択状況

(イ案件 海外で活動を行う国内団体の事務所所在地)

(ハ案件 国内で活動を行う ")

北海道・東北ブロック		関東ブロック		中部・北陸・東海ブロック	
都道府県	採択件数	都道府県	採択件数	都道府県	採択件数
北海道	15	茨城県	2	富山県	2
青森県	1	栃木県	1	石川県	4
岩手県	1	群馬県	1	福井県	3
宮城県	9	埼玉県	2	長野県	4
秋田県	3	千葉県	6	岐阜県	5
山形県	3	東京都	63	静岡県	6
福島県	3	神奈川県	9	愛知県	6
計	35	新潟県	2	三重県	4
		山梨県	2	計	34
		計	88		
近畿ブロック		中国・四国ブロック		九州ブロック	
都道府県	採択件数	都道府県	採択件数	都道府県	採択件数
滋賀県	1	鳥取県	1	福岡県	4
京都府	8	島根県	4	佐賀県	2
大阪府	7	岡山県	4	長崎県	4
兵庫県	0	広島県	0	熊本県	3
奈良県	2	山口県	0	大分県	0
和歌山県	0	徳島県	4	宮崎県	2
計	18	香川県	1	鹿児島県	1
		愛媛県	2	沖縄県	2
		高知県	1	計	18
		計	17		

5. 地球環境基金 手続きの流れ

日程	内容
10月13日（金）	平成30年度募集案内公表
11月13日（月） ～ 12月11日（月）	募集期間
12月11日（月）	募集締切 郵送必着
3月頃	内定通知
4月頃	内定団体説明会（川崎）

注意！
昨年度より
1ヶ月早い

募集案内は、10月13日（金）にホームページで公開しました。
地球環境基金ホームページ <https://www.erca.go.jp/jfge/>

6. 地球環境基金 手続きの流れ

P.16~18

P.9、10

**原則：
精算払い**

平成30年7月～平成31年3月の間に
5回申請の機会があります。

**例外：
一部概算払い**

助成2年目以降の継続団体が要望し、かつ
審査を通過した場合。（要件あり）

対象経費項目：

- ①賃金 ②謝金 ③旅費
 - ④物品・資材購入費
 - ⑤借損料・役務費
 - ⑥事務管理費
- （各種上限金額あり）

主な対象外経費：

1. 有給役職員への謝金・賃金
例外：若手プロジェクトリーダー育成支援
プログラムの活動推進費（要件あり）
2. 飲食に係る経費

7.平成30年度 助成金説明会日程表

北海道	旭川市市民活動交流センター CoCoDe 会議・研修室(旭川市宮前1条3丁目3-30)	11/1(水) 18:30~20:30
東北	山形市男女共同参画センター(ファーラ)5階 第2研修室と視聴覚室 山形県山形市城西町二丁目2番22号(023-645-8077)	11/7(火) 18:00~20:00
関東(地方)	栃木県立宇都宮産業展示館 マロニエプラザ 大会議室(2F)	11/4(土) 10:30~12:00
関東(都内)	東京ウィメンズプラザ視聴覚室	11/1(水) 14:00~16:30
中部	愛知県産業労働センター ウィンクあいち (愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38)	10/14(土) 17:00~19:30
近畿	キャンパスプラザ京都 4階第4会議室	10/31(火) 18:45~20:45
中国	広島県民文化センター (広島市中区大手町1丁目5-3)6階会議室	11/11(土) 13:30~16:00
四国	高松第一生命ビル新館3F 四国EPO内 (香川県高松市寿町2-1-1高松第一生命ビル新館3F)	11/2(木) 18:00~20:00
九州	宮崎県宮崎グリーンシアター壱番館(KITEN)3F (宮崎県宮崎市錦町1-10)	11/8(水) 18:30~20:30

ご静聴有難うございました！

地球環境基金助成金への応募方法、
応募用紙のかきかたについては
第二部でお話いたします！



独立行政法人 環境再生保全機構

地球環境基金部

